

(1) 飼料用とうもろこし

病害虫	防除法	参考事項
黒穂病	(耕種的・物理的防除) 1 3年以上あけて輪作する。 2 発病株は早期に発見し、胞子が飛散する前に埋没する。	
根腐病	(耕種的・物理的防除) 1 ほ場の排水を良くする。 2 生ふんの多量施用を避け、完熟きゅう肥の施用を心掛ける。 3 抵抗性の強い品種を選ぶ。 4 刈り遅れないよう適期収穫(黄熟期)を厳守する。	○ 8月上旬から9月上旬にかけて黄熟期以降の発生が多い。
アワノメイガ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 BT剤 薬剤名 エコマスターBT エスマルクDF トアロー水和剤CT フローバックDF 2 発生初期に下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 パダンSG水溶剤	
アブラムシ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 下記薬剤のいずれかを散布する。 2 抵抗性が発達しやすいので、同一剤の連用は避ける 薬剤名 スミチオン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤	
カラス、キジ、ハト、スズメ、ムクドリ、キジバト	(耕種的・物理的防除) 1 標準より深播きにし、鎮圧を十分行う。 (薬剤防除) 農薬登録情報 【カラス】 ・ 【キジ】 ・ 【ハト】 ・ 【スズメ】 ・ 【ムクドリ】 ・ 【キジバト】 1 キヒゲンRー2フロアブルを塗抹処理する。	
ツマジロクサヨトウ	(耕種的・物理的防除) 1 発生確認時、草丈が高く薬剤散布が困難な場合や隣接ほ場へのドリフトが懸念される場合は、早期刈り取りまたはすき込みを実施する。 2 収穫が可能な場合、早期刈取りを行い、刈取り後は速やかに耕うんする。 3 直ちに収穫が困難な場合は、速やかにすき込みを行う。すき込みの深さの目安は12cm以上とし、2回以上実施する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 BT剤 薬剤名 ジャックポット顆粒水和剤 チューレックス顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 2 発生初期に下記薬剤のいずれかを散布する。 3 老齢幼虫には効果が低下するため、若齢幼虫のうちに防除する。 薬剤名 パダンSG水溶剤	